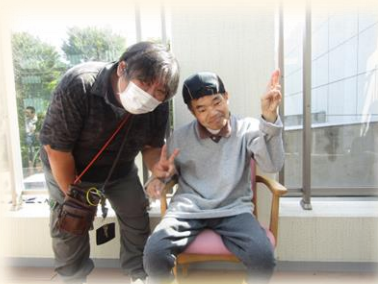


9 丁 目 の 仲 間

発行元 社会福祉法人東京援護協会 大泉障害者支援ホーム
連絡先 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町9-4-2
電 話 03-3978-5581(代) 03-3978-5595(入所直通)
ホームページ <http://www.tokyoengokyoikai.or.jp/13oizumi/>



秋晴れのウッドデッキにて



秋晴れの陽気が心地良い季節となりました。皆様、お変わりございませんか。今年の夏は、気温が高い時期が長かったように思われますが、大泉障害者支援ホームの利用者も職員もみんな元気で過ごしています。

大泉は、新しい建物が建ち、早いもので2年が経ちました。地域の方々に当施設を身近に感じていただけるようにと地域交流室「Café vivo tree」を拠点とした地域福祉貢献活動を進めてきました。色々な試みの中で、地域や福祉施設の関係者の方々に大泉を訪れていただき、繋がることで、これからの活動の基盤を整えつつあると感じています。

今年7月からは、練馬区と街かどケアカフェ連携協定を締結して、「街かどケアカフェ vivo tree」を始めました。年齢を限定せず地域の方々に向けて毎月1回開催しています。施設の掲示板やインスタグラムでご案内をしていますので、「Café vivo tree」の利用も兼ねてぜひご参加ください。

また、地域の方々が主催する活動もサポートしていますので、お気軽にお問い合わせください。

実りの秋、皆様の一層のご隆盛を衷心よりお祈り申し上げます。



施設長 森永桂子



通所 日帰り旅行



令和5年7月14日（金）日帰り旅行で筑波方面に出かけてきました。午前中は『JAXA 筑波宇宙航空研究開発機構筑波宇宙センター』の見学。展示館にて「スペースドームツアー」に参加しました。宇宙ステーションやロケットの展示を間近で見て、その大きさを体感してきました。昼食は宇宙センターの食堂で、ボリュームたっぷりのセット定食を食べました。午後は、『筑波ハム直売所 つくば陣屋』にて、工場見学。ハムやチーズ、飲むヨーグルトの試食もあり、その美味しさにビックリ！皆さんお土産もたくさん買って、楽しい1日を過ごしました。



地域福祉貢献活動

「街かどケアカフェ vivo tree」はじめました！

当施設は、練馬区に居を構える法人施設としての役割を果たすべく共生社会の実現を目指して、今年度7月から“練馬区街かどケアカフェ事業”に参加しました。これまでの地域福祉貢献活動も含め、その様子をご紹介します。

7/20「フレイル予防」



道野 真己 先生



囑託の道野理学療法士を講師として、11名の参加者が集まり「フレイル予防」に関する講座を開催しました。予防の対象がこれまでの「メタボリック」から「フレイル」に変わってきていること、65歳前後で過栄養の意識からきちんと栄養を摂る意識にシフトチェンジすること等、プリント資料やリーフレットを用いて説明し、参加された皆様に共感を頂きました。また、練馬区いきいき体操の体験、当施設の生活リハビリ器具及び使用方法を説明し、終始和やかな時間を過ごしていただきました。

7/22「野菜市」



近隣の農家さんとボランティアさんと共同で野菜市を開催しました。当施設の水耕栽培レタスと、朝収穫されたとうもろこしやピーマン、枝豆、ゴーヤ、茄子、スイカなどの夏野菜がたくさん並び、レタスを含めほとんどの野菜が完売となりました。今回の野菜市は施設として初の試みでしたが、多くの方にお越しいただくことができました。ボランティアさん、農家の皆様、ありがとうございました。



8/27「夏休み映画上映会」



当施設1階活動室のスクリーンを利用して「ONE PIECE FILM RED」を上映し、子供12名、大人6名の参加がありました。

大泉中央公園に隣接する当施設は「中に入るには敷居が高く、未知の世界」として地域の方々、ましてや子供達からは観られていたかもしれません。地域の子供たちにも「身近な存在で在りたい、気軽に足を運んで欲しい」そんな思いからアニメ映画の上映企画となりました。一歩足を踏み入れて頂くと子供たちからは驚愕と喜びの声が上がり、当施設を知って頂く良い機会となりました。



9/29「子育てサロン」



吉野 ラモナ 先生

吉野ラモナ様、Takahashi 様(若槻ももこ)を講師とし、子育てサロン「やってみようの気持ちを伸ばす声かけ」を開催しました。

ポジティブ心理学に基づいた声かけの仕方などを中心に、グループワークなども交えながら2時間の講演が行われました。ご友人と一緒に来られた方や、一人で来られた方、子連れで参加し、床に敷いたマットの上でお子さんを見ながら講演を聞かれる方など、それぞれがリラックスして参加されていたのが印象的でした。グループワークでは、今回の講演でのキーワードである「しなやかマインドセット」の考えを練習する時間があり、「最近あった嬉しかったこと」について参加者がお互いに発表し合っていく中で、子育ての喜びや悩みなどを自然に話し合える場となっていました。

「今日のように子供の年齢が違う親が集まって子育ての悩みを相談し合える場所は、子育て支援センターなどにも無いのでとても貴重な時間だった」との感想が挙がりました。当施設に併設されているカフェは講演後も足を運んでくださり、参加者同士が連絡先を交換し合うなど地域交流の場となっていました。

吉野ラモナ先生の子育てサロンは、次回は2月頃に開催予定です。

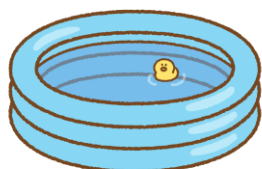


入所 夏休みイベント



8月11日～8月16日に夏休みのイベント行事を行いました。

ビニールプールでの水浴び、近隣スーパーへの買物、またかき氷を食べるなど、例年恒例の行事だけではなく、コロナ前に行っていた行事を復活する等、様々な形で利用者の方々に楽しんで頂く機会となりました。施設内の大浴場は入浴剤の良い香りで、夏らしいものとなり、皆様から好評のお声を頂きました。金魚すくいや、ビーチボールのスイカ割りのレクリエーションも取り入れ、賑やかに過ごしました。



編集後記

次号では、10月末に行われた「ふれEYEまつり」についてお知らせします。今後も、大泉障害者支援ホームに関する情報を提供して参りますので、ご意見、ご感想がございましたら、ホームまでご連絡ください。次回の「9丁目の仲間」は令和6年2月発行予定です。また、今回写真掲載するにあたり、皆様からの同意を得て発行しています。

広報誌担当：本野、藤井、中島